



森下仁丹

株主の皆様へ

第87期

中間事業報告書

2023年4月1日から2023年9月30日まで

森下仁丹株式会社

証券コード：4524



株主の皆様には平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループの第87期中間期（2023年4月1日から2023年9月30日まで）の事業の概況をご報告申し上げます。よろしくご高覧賜り、今後ともより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

森下 雄司

01 事業の概況について

当中間連結会計期間におけるわが国経済の景気は、国内需要を中心に緩やかに回復しております。個人消費は新型コロナウイルス感染症の5類への移行により、外食・宿泊・娯楽など対面型サービスを中心に回復しておりますが、物価高の影響で一部に弱い動きが見られます。

消費者物価（生鮮食品を除く総合、コアCPI）について、2023年2月以降は政府の負担緩和策によって電気・都市ガス代の上昇率が大きく低下したことから、同3.0%台前半で推移しており、財価格に比べ上昇が遅れていたサービス価格は、2023年8月には前年比2.0%まで伸びを高めております。

こうした経済状況をうけ、当社グループのヘルスケア事業は、第1四半期に引き続き、ナショナルブランド品の「ビフィーナ®」や「目もとパックシート」「口もとパックシート」といった、かねてよりインバウンド需要が高い製品の売上が復調傾向にあります。特に「ビフィーナ®」については、整腸効果をもつビフィズス菌を配合した機能性表示食品分野において、26年連続売上No.1を獲得し、今年は発売から30周年の節目を迎えました。2023年9月にはタイ・バンコクで開催されたアジア最大級の栄養補助食品イベント「Vitafoods Asia」に出展するなど、国内はもちろん、アジアを中心とした国や地域で積極的なプロモーションを展開しております。引き続き、一人ひとりの「健やかさ」「豊かさ」に寄り添う製品をパーパス基点でお届けできるよう、ステークホルダーとのリレーションを深めてまいります。

機能性素材販売は堅調に推移しており、今後も新規案件の獲得を進めてまいります。また、ジェネリック医薬品の製造販売についても堅調に推移しており、引き続き患者様とご家族のQOL向上に繋がるよう、安定供給に努めてまいります。

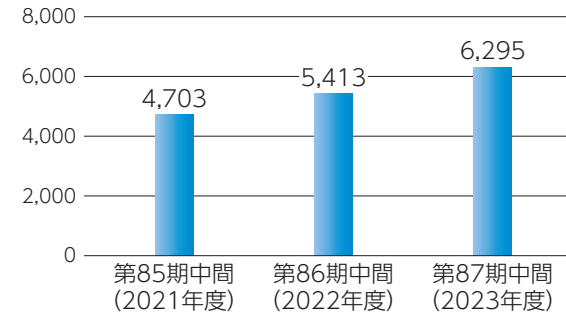
カプセル受託事業は、可食分野においてフレーバークプセルの販売が、産業用（非可食）分野においては化粧品シームレスカプセルが引き続き堅調に推移しております。また、2022年に発表した腸内の特定部位で崩壊するカプセル技術（大腸送達性製剤）の研究・開発を継続しており、製品化を目指しています。今後も、高付加価値シームレスカプセルの開発・製造、オープンイノベーションによるパートナーとの共創を推進してまいります。また、そこで得られた知見を新たなシームレスカプセル技術開発に応用するサイクルを構築して、社会へシームレスカプセル技術を通じたソリューションの提供を続けてまいります。

また、2023年12月にはワダカルシウム製薬株式会社の製造部門を会社分割により当社の100%子会社「株式会社MJ滋賀」として取得し、当社グループに加わる予定です。同社の食品、医薬品製造にかかるとの製剤技術、及び製造、品質管理のノウハウを当社の持続的な成長及び企業価値最大化へ繋げるべく、今後も事業を展開してまいります。

この結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高6,295百万円（前年同中間期比16.3%増）、営業利益621百万円（前年同中間期比94.0%増）、経常利益645百万円（前年同中間期比88.0%増）、親会社株主に帰属する中間純利益473百万円（前年同中間期比81.6%増）となりました。

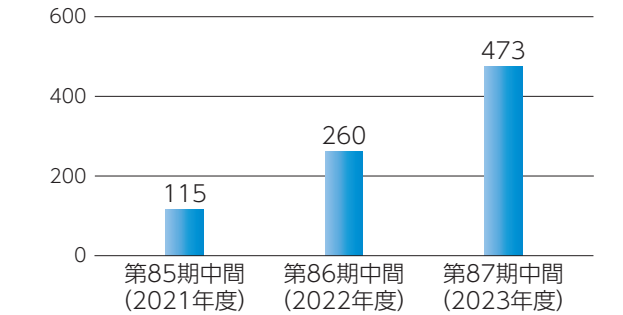
■ 売上高

(単位：百万円)



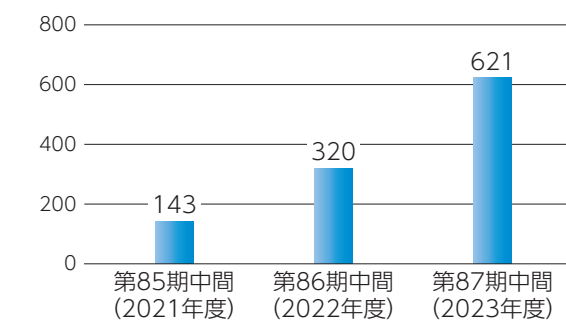
■ 親会社株主に帰属する中間純利益

(単位：百万円)



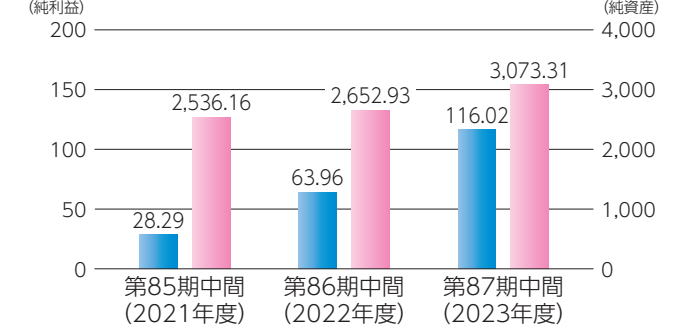
■ 営業利益

(単位：百万円)



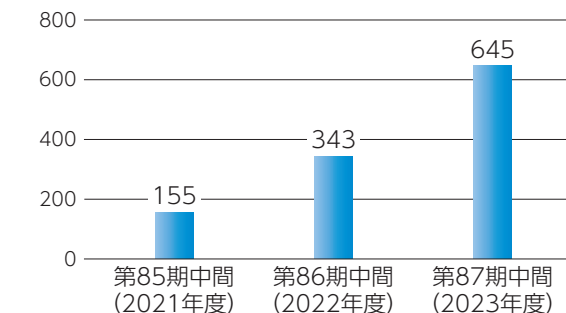
■ 1株当たり中間純利益・純資産

(単位：円)



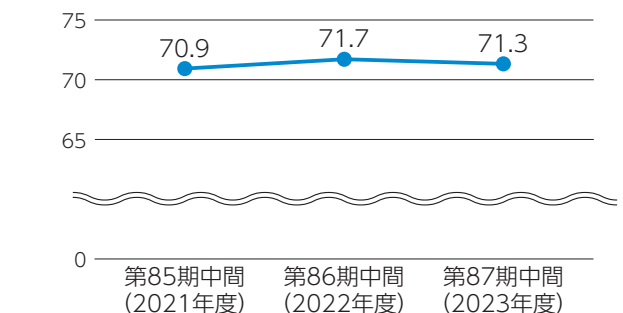
■ 経常利益

(単位：百万円)



■ 自己資本比率

(単位：%)



ヘルスケア事業

「セルフメディケーション」の推進を目指して

創業者・森下博は、「飲みやすく、携帯・保存に便利な薬を作りたい」という思いで「仁丹」を開発しました。

「健康とともに安心と安全をお届けする」この健康理念のもと、原料を厳選し、優良品を製造することを志とするその思いは今も受け継がれ、独自のシームレスカプセル技術とこだわりの品質の製品を、毎日健康で過ごしたいと願う全ての皆様にお届けしています。

当セグメントにおきましては、「ビフィーナ®」をはじめとしたインパウンド需要と親和性の高い製品が復調にあり、また現地代理店との連携によりアジア地域での売上も堅調に推移しております。この結果、売上高は、4,214百万円(前年同中間期比3.9%増)、セグメント損失は、一時的な在庫評価減による影響で50百万円(前年同中間期比はセグメント利益67百万円)となりました。

売上高

ヘルスケア事業
4,214
百万円

66.9%

カプセル受託事業

医薬品から食品、産業用まで進化し続けるシームレスカプセル技術

「液体の仁丹を作れないか」その思いから開発が始まり、今では当社のコア技術として発展した「シームレスカプセル技術」。

粉末、液体、微生物など様々なものを包むことができ、また、皮膚の調整により、ドラッグデリバリーシステムを実現する医薬品から、食品、産業用まで様々な分野への展開が可能です。

当セグメントにおきましては、フレーバークラプセルの製造受託による売上が前年同中間期と比べ増収となりました。今後もパートナー企業やアカデミアとの共同研究により、シームレスカプセルを用いた社会課題解決への取り組みを展開してまいります。

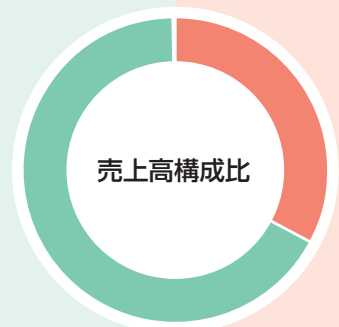
この結果、売上高は、2,076百万円(前年同中間期比53.1%増)、セグメント利益は、668百万円(前年同中間期比166.2%増)となりました。

売上高

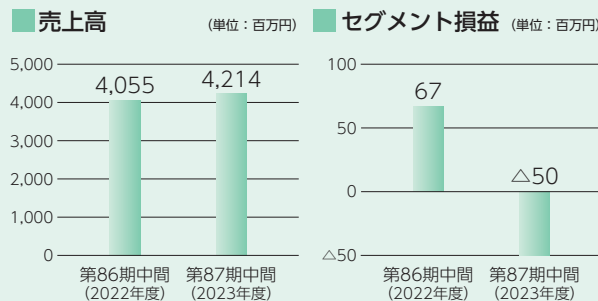
カプセル受託事業
2,076
百万円

33.0%

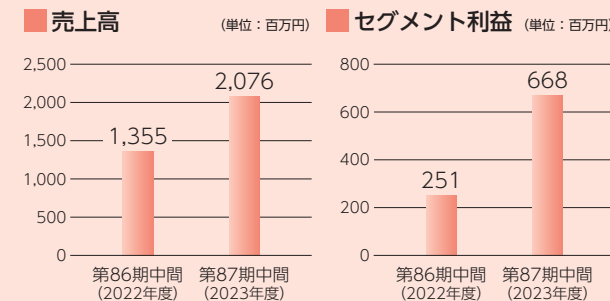
売上高構成比



3.9%増
(前年同中間期比)



53.1%増
(前年同中間期比)



中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当 中 間 連 結 会 計 期 間 (2023年9月30日現在)	前 連 結 会 計 年 度 (2023年3月31日現在)
資 産 の 部		
流 動 資 産	7,384	7,145
固 定 資 産	10,223	8,957
有 形 固 定 資 産	4,538	4,461
無 形 固 定 資 産	320	353
投 資 そ の 他 の 資 産	5,363	4,142
資 産 合 計	17,607	16,103
負 債 の 部		
流 動 負 債	2,882	2,818
固 定 負 債	2,167	1,892
負 債 合 計	5,050	4,711
純 資 産 の 部		
株 主 資 本	9,881	9,563
その他の包括利益累計額	2,675	1,828
純 資 産 合 計	12,557	11,392
負 債 ・ 純 資 産 合 計	17,607	16,103

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	当 中 間 連 結 会 計 期 間 (2023年4月 1日から 2023年9月30日まで)	前 中 間 連 結 会 計 期 間 (2022年4月 1日から 2022年9月30日まで)
売 上 高	6,295	5,413
売 上 原 価	3,190	2,841
売 上 総 利 益	3,104	2,572
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	2,482	2,251
営 業 利 益	621	320
営 業 外 収 益	25	24
営 業 外 費 用	1	1
経 常 利 益	645	343
税 金 等 調 整 前 中 間 純 利 益	645	343
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	190	72
法 人 税 等 調 整 額	△ 18	10
中 間 純 利 益	473	260
親会社株主に帰属する中間純利益	473	260

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当 中 間 連 結 会 計 期 間 (2023年4月 1日から 2023年9月30日まで)	前 中 間 連 結 会 計 期 間 (2022年4月 1日から 2022年9月30日まで)
営 業 活 動 に よ る キャ ッ シ ュ ・ フ ロ ー	△ 163	547
投 資 活 動 に よ る キャ ッ シ ュ ・ フ ロ ー	△ 294	△ 160
財 務 活 動 に よ る キャ ッ シ ュ ・ フ ロ ー	△ 288	△ 302
現 金 及 び 現 金 同 等 物 の 増 減 額	△ 746	84
現 金 及 び 現 金 同 等 物 の 期 首 残 高	2,409	2,138
現 金 及 び 現 金 同 等 物 の 中 間 期 末 残 高	1,662	2,223

TOPICS

1 ビフィーナ誕生30周年

1993年9月 森下仁丹のビフィーナは誕生しました。
たくさんの方々に愛されて30年。これまでも、これからも、あなたとともに。

ビフィーナ30年の歩み

ビフィズ菌10億個を配合した商品が誕生。大容量タイプは缶入りでした。



ビフィーナ10 誕生

1993年

透析患者様のニーズに合わせて、ビフィズ菌やカリウムなどの配合量を配慮した商品を発売。



ビフィズ菌HD (医療機関向け) 発売

1996年

水なしで手軽に摂れるタブレットタイプの「ビフィーナ粒」をはじめ、色々なおなかの悩みに合わせた商品も仲間入り。



ビフィーナ粒、ユッカビフィーナ、ビフィーナハーブタイプ 発売

2001年

ビフィーナ20周年を記念して発売。レモン風味とラズベリー風味の2種でヨーグルトにかけて食べる新感覚のサプリメントとして誕生。



ビフィーナビギン 発売

2013年

2015年4月から施行された機能性表示食品制度に基づき新ブランドヘルスイドシリーズとして生まれ変わり。



機能性表示食品としてリニューアル

2015年

1996年 仁丹のビフィズ菌S 発売



1996年

ビフィズ菌50億個を配合した商品も追加発売。



1996年

2001年 ビフィーナEXを追加してシリーズリニューアル



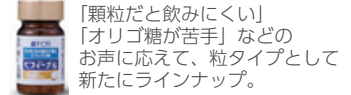
2001年

ビフィズ菌100億個配合の「EX」も加わり、現在のビフィーナシリーズに繋がっています。



2001年

2014年 ビフィーナS Pearl 発売



2014年

「顆粒だと飲みにくい」「オリゴ糖が苦手」などのお声に応じて、粒タイプとして新たにラインナップ。



2014年

TOPICS

2 サッカー選手を夢見る東南アジアの子供たちを応援！
Jintan U-14 アセアンドリームフットボールトーナメント2023

東南アジア諸国の地域から12チームが参加し、タイのバンコクチームが優勝

当社は、タイ・バンコクで開催された国際大会「U-14 アセアンドリームフットボールトーナメント2023」に冠スポンサーとして、協賛いたしました。東南アジア諸国地域の若い選手の育成や強化、国際交流を通じたグローバル人材育成を目的としています。

当社は創業以来、人々の健康や豊かな暮らしの一助となるため、「銀粒仁丹」や「ヘルスイド®ビフィーナ®シリーズ」など様々な製品を提供してまいりました。タイをはじめ東南アジア諸国地域にも約80年前より商品を輸出・販売しており、本大会へのスポンサーシップを通じて子供たちへの機会提供や夢の実現に寄与した

と考えています。当社は今後も、様々な地域コミュニティへの参画を通して幅広いCSR活動に取り組んでまいります。



役員

代表取締役社長	森下 雄 司	取締役(社外取締役) (監査等委員)	石 黒 訓
取締役 (社外取締役)	末 川 久 幸	常務執行役員	石 田 英 嗣
取締役 (社外取締役)	大垣内 好 江	執行役員	地 主 紀 之
取締役 (常勤監査等委員)	光 永 健 治	執行役員	吉 田 秀 章
取締役(社外取締役) (監査等委員)	石 原 真 弓		

ネットワーク

Network

商 号	森下仁丹株式会社 MORISHITA JINTAN CO., LTD.
資 本 金	35億3,740万円
事 業 の 内 容	医薬品、医薬部外品、化粧品、医療機器、並びに食品などの製造及び販売

事業所及び工場

本 社	大阪府中央区玉造一丁目2番40号	電話 (06) 6761-1131 (代表)
大阪テクノセンター	大阪府枚方市津田山手二丁目11番1号	電話 (072) 800-1040
滋 賀 工 場	滋賀県犬上郡多賀町大字四手諏訪960番地12	電話 (0749) 48-7370
東 京 オ フ ィ ス	東京都千代田区神田富山町10番地2 アセンド神田ビル6F	電話 (03) 6206-8138

株主メモ

事業年度末日 3月31日

期末配当金
受領株主確定日 3月31日
(中間配当を行う場合 毎年9月30日)

定時株主総会 毎年6月

公告の方法 電子公告 (<https://www.jintan.co.jp/ir/>)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告により行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。

金融商品取引所 株式会社東京証券取引所 スタンダード市場

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
電話 (通話料無料) 0120-094-777

当社コーポレートサイトのご案内

当社コーポレートサイトで各種情報を公開しております。

是非一度ご覧ください。

<https://www.jintan.co.jp/>



▲ トップページ



▲ IR情報